

ひろば大代

NO.322

大代公民館

H18.5.23

母の日特集

おかあさん

いつもありがとう



大代幼稚園の元気な子どもたちに
インタビューしました。

- ① お母さんのどんなところが好き？
- ② お母さんへのお願いは？

4歳 井谷ゆういちろうさん

- ① 買い物に連れて行ってしてくれること
と本を読んでくれること

- ② おもちゃで遊んでほしい

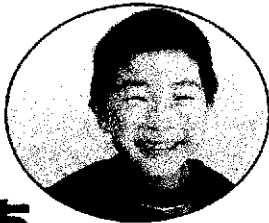
4歳 三谷ゆうとさん

- ① いちじく温泉につれて行ってしてくれ
る事とスープと焼き飯がおいしい事
- ② パズルで遊んでほしい

3歳 小笠原りかさん

- ① 本を読んでくれる事と頭を洗って
くれること

おかあさん



あ



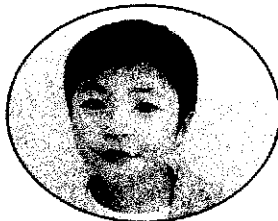
い



と



が



う

3歳 三崎たまきさん

- ① お仕事をしているお母さんが好き
髪を切ってくれるお母さんが好き

- 1歳 三谷れなさん
- 1歳 三崎けいさん

- ① おかあさんだいすき

春の叙勲受賞

おめでとうございます

春の叙勲が4月29日付で発表され、
県内では55人の方が受賞されました。
その栄えある賞の中の瑞宝単光章を、
大代町四日市自治会の竹本 譲氏が
(元大田市消防団副団長) 消防功労と
して受賞されました。おめでとうございます。



人事異動

役員交替

大代町では春の人事異動で次の通り
役員の改選がありました。(敬称略)

大代高山会会長

会長	上市	木村幸司
副会長	四日市	竹島 修
〃	下市	渡 和基
〃	本郷	日向高弘

▼大代体育協会

会長 上飯谷 武田 穰
副会長 平 武田 章

▼大代消防後援会会長

会長 四日市 森田輝男
副会長 平 高村賢蔵

ふる里の悲話 森銀之丞

大田 原田萬里



この石碑はふる里の方ならきつと見られたことがありますね。
浄願寺の近くの県道沿いに建てられているものです。

碑文には

是は島根県工手森 銀之丞君の為の記念碑である。君は松江藩士、明治二十一年八月本県工手の命を奉じ、県下三大道路の改修に従事し、いつも監督・指示し着々竣工し、邇摩郡八代村に到り、工事は山に当たり、山を穿つこと頗る困難なり、君が自らノミを持ち磐石を突けば石は砕けて土が落ち、上層の大きな岩石の大元が崩れて倒れた。君はそれを避けることが出来ず下敷きとなり死す。年二十五歳。実に明治二十四年四月十日なり。君は職を奉じて勤勉。宜享定栄^{さきようていゑい}として此の不幸に罹る、嗚呼天何ぞ其れ摻たるか。茲に有志者相謀り、石を建て永く追悼の意を表す。

明治二十四年八月

武田靖十郎外 五十二名

私が此の碑文を読んだのは平成十一年三月のことである。未だ小学生の頃にぼんやりとした石碑の意味は聞き覚えていた記憶はあるが、こんなに感動した覚えはなかった。
思えば森 銀之丞の犠牲があつて、旧

国道九号線が完成し、永い間に私達の生命線であり、文化ももたらしてくれた道であつたのだとつくづく感じたのである。
後世に此の悲話とその為に受けた恩恵の多大さを伝へなくてはならないと思つた次第である。



飯谷の掘割

よっちゃん菜イベントのお知らせ

高山の里運営委員会

杵つきよもぎ餅実演販売

期日 5月28日(日)

時間 午前9時〜13時まで

お待ちしております

俳句

あすなる句会



大田市 原田萬里

北前の船路を偲ふ春の海

火が猛る三瓶の原の野焼きかな

下市 渡 あやこ

茹であげる筍の香の吹きこぼれ

初蓆のかぐはしき青頂きし

柿田 横手いちえ

白波のくだけ入江に海猫うみねこの声

ほんだはら波にちぎれて入江灘

八反田 森 信子

日毎見る高山隠す黄砂かな

吟行の道に紅敷く椿かな

椿 花田時子

足音に散ってすぐ寄るかた蛸蚪の群

釣人の身動きもせず春の磯

下市 今田文字

春の水満ちて谷間に響きけり

ものの芽や母は葉に頼る日々

川上 岩田律枝

春の月木陰を落す狭庭かな

波の音聞きつ吟行花曇

本郷 和田喜和子

白波の岩打つ音や日の永し

春光や磯釣たのしわらべ達

椿 柿丸寿枝

幾世経し鶉の丸城址花曇

釣船に群る海猫や温泉津港

※蛸蚪とはおたまじやくしの事

6月行事予定

* * * * *

* * * * *

▼1日(木) 大代地区社協会議

▼4日(日) 婦人会旅行

▼11日(日) 関西高山会総会

▼18日(日) 福祉弁当

▼20日(火) さくらんぼ教室

▼23日(金) 連合自治会

▼24日(土) 男の料理教室

「不思議カレー」参加者募集!

申込締切6月20日(火) 公民館まで

▼25日(日) 歩け歩け大会石見銀山へ

集合・出発 9時 大代公民館

10時〜12時 大森町散策

14時 大代公民館帰着

お知らせ

◎大代地区社会福祉協議会から

下市 坂井菅子様より

右原 今田ハツ様より

弓久 己作 稔様より

川上 岩田律枝様より

香典返しにかえ、金一封の御厚志を

頂き、厚くお礼申し上げます。

編集後記

山々は新緑で埋めつくされて、どこも自然があふれている。

五月連休を境に、あちらこちらと田植を終えた水面を眺めながら歩いていると本当に気持ちがいい。

『何かいい事ありそうな……』

今年こそと意気込んだ年の初めや、四月一日の新年度とは違った、のどかな楽しい気持ち湧いてきます。

六月もいろいろ催しが予定されているようです。

さて、それでは「何かいい事でも探しに行くとしましょう。」(W)